

平成 29 年度シラバス (書道)

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科 (科目)	芸術 (書道 I)	単位数	2 単位	学年 (コース)	1 学年 (芸術選択)
使用教科書	書道 I (教育出版株式会社)				
副教材等	なし				

1 学習目標

(1) 国家の文化遺産の一つとしての書道の理解を深める。 (2) 生徒に書道の技術を習得させて、高度の美を創造することができるようにする。 (3) 生徒に書道に対する鑑賞能力を得させて、情緒的生活を豊かにさせる。 (4) 書道をとおして、望ましい生活態度を身につけ、国民道徳を高めることに寄与する。
--

2 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> ・ 行書の学習：蘭亭序の古典を基調とした行書 ・ 楷書の学習：様々な楷書 ・ 検 定：毛筆、硬筆書写検定の合格に向けた取組

3 学習計画

月	単元名	教 材	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	用具・用材について 行書の基本	文房四宝ビデオ・拓本	用具を大切にして、作品作りの取組。 レプリカ拓本・校外拓本。	6	作品 授業への取組
5	蘭亭序	古典の意図、鑑賞	古典を基調とした練習	6	
6	行書の創作	部分から全体への構成へ	表現の課程を工夫し、楽しく創作ができる。	8	
7	漢字かな交じりの書	詩文選び、構成	詩文に向き合い、向上する心を養う。	6	
9	様々な楷書	書風を捉え、表現の幅を知り、工夫する取組	4 大家の楷書。	6	
10	様々な楷書	書風を捉え、表現の幅を知り、工夫する取組	創作。	6	
11	隷書	基本	書体を工夫した作品作りの取組。	6	
12	硬筆・毛筆書写	合格に向けて各問の取組、練習	検定に向けての問題への取組。	6	
1	硬筆・毛筆書写	合格に向けて各問の取組、練習	検定実施。	6	
2	小字教	線質について	創作力。	6	
3					

計 64 時間 (55 分授業)

4 課題・提出物

それぞれの学習活動ごとに作品提出を指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の 4 観点から行います。			
書への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組むことができる。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け、表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わうことができる。
以上の観点を踏まえ ○ 学習状況 (授業中の取組・態度) ○ 制作過程 (工夫点) ○ 作品 (表現力) などから、総合的に判断します。			

6 担当者からの一言

温故知新・・・古典の要素を取り入れ自己の感性を生かす作品づくりを心掛けましょう。 <div style="text-align: right;">(担当：佐藤純子)</div>
